



● 会報第18号の発行によせて ●

今回の特集は、平木美鶴氏に公募展についてお話を伺いました。また作家紹介では、2012年に京都市美術館で開催した『日本・英国 国際版画展』で『ギャラリー・ヒルゲート賞』を受賞された三宅由里子氏と岩崎咲子氏の2名にお話を伺いました。

それぞれ大変興味深い内容です。ごゆっくりとお楽しみ下さい。



◆ *Yuriko Miyake*  
“Life (digital version)”  
H41×W25cm  
Digital print on copperplate  
2012



◆ *Shoko Iwasaki*  
“横の風景”  
H77×W105cm  
collagraph  
2010

■ 特集 公募展に思うことー狩猟してみます？ ー 平木 美鶴 ー

■ 作家紹介 ギャラリー・ヒルゲート賞 受賞作家

ー 三宅 由里子・岩崎 咲子 ー

■ 活動報告

■ 掲示板

## 公募展に思う事 狩猟してみます？

平木美鶴

公募展は、美術家による団体（公募団体）が主催するものと、コンクール形式のものに分かれますが、私が美大の学生だった一九八〇年代は、公募団体展の水河期とも言える時代で、公募団体展は若い感性を理解しないと出品規定に縛られる等の理由からコンクール形式が個展発表によって美術家デビューを目指す者が多くなっていました。

私のデビュー当時の場合、日本版画協会展と個展、コンクールの併用という感じでしたが、日本版画協会展には画廊関係者も見に来ていて、何年か作品の動向を追って、個展の企画を頂いたりしていたので公募団体展も悪くないかなとも思っていました。しかし、さすがに絵も描き始めて絵画公募団体二紀展に出品し始めると、それはやりすぎではないかと周りに随分と言われましたが本格的に絵を描くためには、多くの絵の中で自分の絵がどう見えるか勝負する必要があったので、今まで出品を続けています。その二紀会の理事長山本貞氏が公募団体について農耕社会に似ていると語っています。「農耕は時間がかかる、土の耕作から始まり秋の収穫まで時を紡ぐ持続作業であるが、公募団体も持続という時間の蓄積から生み出される収穫方法である。一方、コンクールに応募するのは一発勝負で当たれば獲物も大きい狩猟社会である。」一面、上手く表現していると思います。人には、色々なタイプがあるのと同じように作家の獲物の獲得方法も色々あっていいわけで、最近の若い人は、公募団体展への昔のようなアレルギーが無くなっていくように思えるし、公募展の利用方法もその人なりのスタイルに合わせて一番良い方法を選べば良い訳です。

美大時代と同じアトリエで制作していた友人とこれからのように作家として生きて行こうかと作戦を立てた事があるのですが、一つ目は、近い将来に大きな賞を一つ獲りたい。二つ目に四〇歳までに大学の教員になる事。これができたら後は好きな作品を作って暮らせると嬉しそうに話をしていました。その友人はコンクールで大賞を一つ貰った後は、公募展にはコンクールも含めて一切出品しないで個展のみで今でも活躍しているし良い作品を作っている。

ます。コンクールでどれだけ成果が私にあったかという、画歴を捜しても大した成果もないのですが、大学院終了後あたりのコンセプトチュアルアートやモノ派以降のニューペインティングの出現あたりに注目度の高い時期があったかと思えます。（その時期の作品を掲載します。）

この十月に阿波和紙国際ミニプリント展の審査員をしたのですが、ミニプリントと言う事もあって全体のレベルが高く、同時にこの中から幾つかの賞に入る事の難しさを感じました。ただ、時間を掛けて作品群を見てみると何故か呼びかける作品が幾つかあり、その作品はいつの間にか賞が上がっている。不思議なもので、これが作品の持つ力なのかなと思ひ、もう一度コンクールを見直す良い機会にもなりました。

さて、この欄で求められているのはコンクールへの勧めなのですが、一度ぐらいは大きな獲物を得てお腹いっぱい肉食もいいですね。しかし、それは数日の満足でしかないので本質はそこには無いようです。次のステップへのチャンスとして利用する一つの手段なのでしょう。



ジャンル風呂でウヒウヒウエモ、ハロもりつけアイ川  
木版画／縦六〇、五×横八三、五センチ／一九八二年

### Information about Print Competitions

#### 公募展情報

##### 募集中心

- 第13回 南島原市 セミナリヨ版画展 ●
  - ・紙に刷った版画作品に限る
  - ・テーマは自由※セミナリヨにこだわるものではない
  - ・平成24年以降に制作されたものに限る。
 但し、他のコンクールなどでの受賞作品を除く  
 作品受付：平成25年12月3日～平成26年1月24日  
 作品サイズ：シートサイズ765mm×1,085mm以下※額装なし  
 応募点数：1人1点に限る  
 問合せ先：050-3381-5082
- 第20回 鹿沼市立 川上澄生美術館 木版画大賞 ●
  - ・木版画または木版画を主たる版材とした作品と審査員が認めた作品
  - ・平成25年以降に制作された公募展未発表作品
  - ・国籍・年齢不問
 作品受付：平成26年2月11日～2月16日  
 作品サイズ：額外寸120×120cm以内 ※要額装  
 応募点数：1人1点に限る  
 問合せ先：0289-62-8272
- 第9回 高知国際版画 トリエンナーレ展 ●
  - ・紙に刷った版画作品に限る
  - ・2012年以降に制作された作品。
 作品受付：2014年4月1日～4月30日  
 作品サイズ：シートサイズ100cm×100cm以下※額装なし  
 応募点数：1人3点以内  
 問合せ先：088-893-0886

##### その他公募展

- 第4回 バンコク 国際版画・ドローイングトリエンナーレ ●  
**Timeline of the 4th Bangkok Triennale International Print and Drawing Exhibition**
  - ・画像の提出（応募）期間：August 1st - 20th, 2014
  - ・画像による審査と選抜 Initial Selection ( JPEG files in CD or DVD for the initial screening ) : September 24th - 25th, 2014
  - ・選考結果の通知 Announcement of the Initial Selection : October 7th, 2014
  - ・オリジナル作品提出日 Submission period : November 27th - 29th, 2014
  - ・最終審査 Final round selection : January 21st, 2015
- あおもり国際版画トリエンナーレ
- 飛騨高山現代木版画ビエンナーレ
- 山本鼎木版画大賞
- 池田満寿夫記念芸術賞
- 京展
- CWAJ 現代版画展
- クラクフ国際版画トリエンナーレ  
International Print Triennial KRACOW
- 中華民国国際版画・素描ビエンナーレ  
International Biennial of Print and Drawing R.O.C. TAIWAN
- カダケス国際ミニプリント展  
Mimi Print International of CADAQUÉS
- バンクーバー国際ミニプリント・ビエンナーレ  
Biennial International Miniature Print Exhibition VANCOUVER
- フィンランド国際ミニプリント・トリエンナーレ  
International Miniprint Miniature Graphics Triennial FINLAND

※各公募展の問い合わせは、主催者へお願いします。  
 ※詳細はインターネットの検索サイトでお調べください。

キーワード



検索

# 三宅

Yuriko Miyake

## ミクストメディア 由里子

'77 名古屋出身

- '07 高知国際トリエンナーレ
- '08 愛知県立芸術大学卒業
- '09 第77回版画協会 B部門受賞
- '10 日本・ポーランド国際版画展  
現代日本版画展 中国美術学院美術館  
日韓芸術交流展(JARFO)
- '11 Asia Art Program(Gallery MARU・韓国)
- '12 日本・英国国際版画展 ギャラリー・ヒルゲート賞
- '13 依代プロジェクト(松尾大社)



## ◆◆ 各賞と作家紹介 ◆◆

2012年に京都市美術館にて開催された「日本・英国国際版画展」では優秀な作品を制作した作家へ各賞が贈られました。

2014年に同じ会場で開催される「日本・オーストラリア国際版画展」でも同様に、優秀な作品に賞が贈られ、受賞作家はこの会報にて紹介をさせていただきます。

<参考：『日本・英国国際版画展 2012』の各賞>

- MoakFund賞：1名  
賞金授与
- 優秀賞：2名  
賞金授与
- ギャラリー・ヒルゲート賞：2名  
ギャラリー・ヒルゲートにて個展を開催
- アワガミファクトリー賞：2名  
阿波紙授与

「こころをうつす器」から  
「御酒の盆」／acrylic plate  
直径三十センチ／二〇一三年



Q1…版画制作を始められたきっかけを教えてください。  
在学時代、私は銅版画というのを知りました。当時はデザイン科卒業に向け、就職等も含め、本当に自分は何かしたいのかを考えておりましたが、銅版画に出会い、それがとても面白く、作家活動を始めるきっかけとなりました。

Q2…ご自身の作品のテーマとコンセプトを教えてください。  
私は、生物のかたちに関心があることから、かたちあるものがどのように形成されていくのか、また表面の形に保護されているものが、もし取り払われた場合の状態を考え、細密に描くことをテーマにしています。

# 岩崎

Shoko Iwasaki

## コラグラフ 咲子

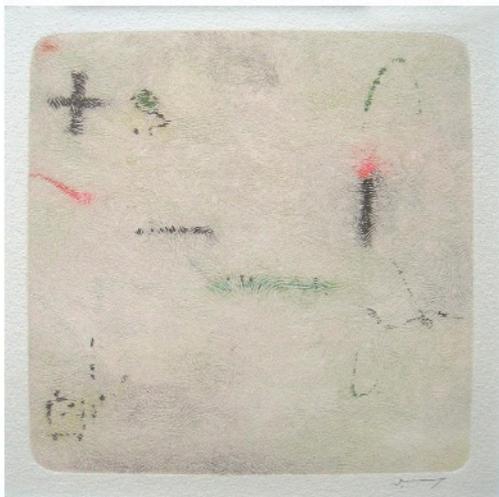
- '88 鳥取県米子市出身
- '10 京都造形芸術大学 洋画コース版表現卒業

- 卒業制作展 学科賞
- グループ展参加多数
- '11 鳥取県展 奨励賞  
個展 (デザインスペースヤスノ)
- '12 日本・英国国際版画展
- '13 ギャラリー・ヒルゲート賞  
個展 (ギャラリー・ヒルゲート)

Q3…作品制作の中で、最も大切だと考えておられる事を教えてください。  
作品では、一瞬の変化という表現ではなく、徐々に変化していく様子を描こうと考えています。そうすることで、表面にあるかたち以上に、生物の本質を垣間見ることができるとは思っています。そこに、生物の外見のもつイメージからは想像のできない、本来の野性的なエネルギーや、鼓動、生温かさを表すことができるのではないかと、私は感じています。人間には皮膚があり、血液が流れ、一つの命しか持たない生物なのだという当たり前のことなのですが、新しい技術の開発と共にそのことがどこか希薄になり、個であること自体がそれほど重要でなくなる時があるのかもしれない。しかし、描く、彫るという行為で、今を生きる生物の本質を表現することが、私の作品制作では大切なことだと考えております。

Q4…今後の夢をお聞かせください。  
現在は、私自身の版画作品を改めて見つめ直すことも含め、また学生をしておりますが、そこで経験する知識や技術に、新しい作品表現の可能性を見つけることができたらとも考えております。しかしながら、技術や言葉では表現しきれないものも大きな要素と捉え、今後も活動していきたいと考えております。

「風景no.4」縦十七センチ×横十七センチ／紙版／二〇一三年

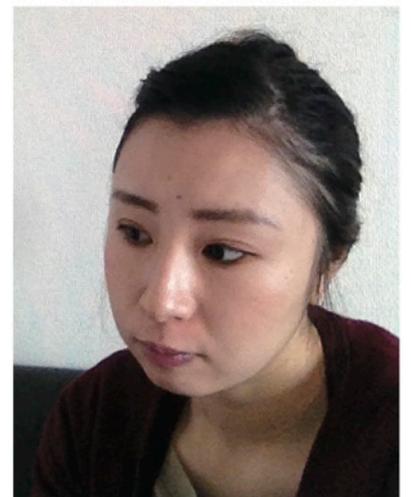


Q1…版画制作を始められたきっかけを教えてください。  
かつこいいなくという好奇心からだったと思います。

Q2…ご自身の作品のテーマやコンセプトを教えてください。  
テーマはエネルギーについてです。コンセプトは太古から先まで。

Q3…作品制作の中で、最も大切だと考えておられる事を教えてください。  
今は集中力です。

Q4…今後の夢をお聞かせください。(作家活動以外でも)  
英語がペラペラに話せるようになりたいです。



# 活動報告

展覧会名：ギャラリー・ヒルゲート賞 受賞者個展 ①  
 ー 岩崎 咲子 版画展 ー  
 日 時：2013年4月2日(火)～4月7日(日)  
 会 場：ギャラリー・ヒルゲート  
 会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535

多くの発見と大量の反省が出来ました。  
 たくさんの方の来場者の方にご意見・ご感想をいただきとても刺激になりました。  
 今後の制作活動に生かしたいと思います。ありがとうございます。  
 (文：岩崎咲子/写真撮影：ギャラリー・ヒルゲート)



展覧会名：ギャラリー・ヒルゲート賞 受賞者個展 ②  
 ー 三宅 由里子 記憶の向こう側 ー  
 日 時：2013年4月30日(火)～5月5日(日)  
 会 場：ギャラリー・ヒルゲート  
 会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535

今回、日本・英国国際版画展でギャラリー賞を頂き、ヒルゲートで展示をさせて頂きました。そこは低い天井、木の柱が特徴で、大きな丸いライトが暖かい光を作りだす、ホワイトキューブでありながら、建物自体の特徴を活かした展示空間でした。しかし、私は大きめの作品が多いので作品と上手く調和するの不安もありましたが、実際展示をしてみると、その特徴が逆に作品の味を出してくれました。開催期間がGWだったこともあり、多くの方が来客して下さい、充実した展覧会になりました。  
 (文・写真撮影：三宅由里子)



展覧会名：第5回ポレポレ展  
 日 時：2013年8月27日(火)～9月8日(日)  
 会 場：JARFO  
 会場住所：〒605-0023 京都市東山区三条通東大路東今小路町 81  
 出 品 者：伊藤尚子 片岡れいこ 越田美智子 竹原仁子  
 ツツミアスカ 羽田多栄子 ふじいみよこ (五十音順)

今回のポレポレ展は女性作家のみの選抜となりました。オープニングパーティーでは作品や技法、政治や宗教についてなど、とても多様な意見交換が行われ、大変充実した時間でした。また作品点数が多く、ボリュームがあり、幅広い年代の女性作家の様々な版種の作品が一堂に見られ、とても良い展覧会だと思いました。  
 まだまだ暑い中、たくさんの方にご来場頂き、誠にありがとうございます。  
 (文・写真撮影：ツツミアスカ)



★開催日決定★

## 日本・オーストラリア 国際版画展 2014

2014年10月28日～11月9日  
京都市美術館



AUSTRALIA  
2014  
JAPAN



### 掲示板

会報にお寄せいただいた版画京都展実行委員会メンバーの展覧会情報です。  
 詳細は会場へお問い合わせください。

- 弘中 征夫  
 <西宮美術協会 第11回クロスロード展>  
 会期：2014年2月4日～2月9日  
 場所：西宮市立 北口ギャラリー 第2展示室  
 〒663-8035 西宮市北口町 1-2 アクタ西宮東館 6階  
 TEL：0798-69-3160
- ツツミ アスカ  
 <ツツミ アスカ 個展>  
 会期：2014年2月17日～3月1日※日曜日休廊  
 場所：十一月画廊  
 〒104-0061 東京都中央区銀座 7-11-11 長谷川ビル 3F  
 TEL：03-3289-8880
- 角間 貴生  
 <角間 貴生 絵画展>  
 会期：2014年3月18日～3月23日  
 場所：山本文房堂画廊  
 〒810-0041 福岡市中央区大名 2丁目 4-32  
 TEL：092-751-4342

- たなか 玉実  
 <時の魔術Vーたなか 玉実 銅版画展>  
 会期：2014年4月8日～4月13日  
 場所：ギャラリー おいし  
 〒810-0001 福岡市中央区天神 2-9-212  
 (新天町南通り)  
 TEL：092-721-6013
- 弘中 征夫  
 <第88回国展>  
 会期：2014年5月1日～5月12日  
 場所：国立新美術館  
 〒106-0032 東京都港区六本木 7-22-2  
 TEL：03-5777-8600

### 編集後記

2013年夏、念願のスリランカへ行って来ました。遺跡巡りはもちろん、この国は芸術活動が盛んになって来ています。ホテルやレストランには若手の絵画が飾ってあったり、壁画が描かれていたり、なかなか楽しいですよ。会報担当：ツツミアスカ(編集)、三上景子、千明 発行：版画京都展実行委員会 問い合わせ先(事務局)：075-956-6910